【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第４区分
【発行日】平成30年6月28日(2018.6.28)

【公表番号】特表2017-529459(P2017-529459A)
【公表日】平成29年10月5日(2017.10.5)
【年通号数】公開・登録公報2017-038
【出願番号】特願2017-514501(P2017-514501)
【国際特許分類】
Ｃ２３Ｃ　14/06　(2006.01)
Ｃ２３Ｃ　14/34　(2006.01)
Ｂ２３Ｂ　27/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ２３Ｃ　14/06　A
Ｃ２３Ｃ　14/34　R
Ｂ２３Ｂ　27/14　A

【手続補正書】
【提出日】平成30年5月18日(2018.5.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
欧州特許出願公開第１１７４５２８Ａ２号に記載されるような解決策は、優れた結果を呈するが、現在まで、このような相分離は、残念ながら、アーク放電イオンプレーティングによってのみ実現されることが知られている。液滴は、反応性アーク放電コーティング方法の既知の問題である。それらは、コーティング層を比較的粗くさせる。これは、通常の大きさの工具にとっては、小さな問題である。しかし、２ミリメートル以下の直径を持つエンドミルなどの小さな工具にとっては、表面粗さは、工具を使用中に損傷することをもたらし得る。別の欠点は、物質送達ターゲットにおけるＳｉ含有量に比べて、メッキアーク放電イオンで製造された層において、Ｓｉ含有量が低いことである。高いＳｉ含有量を有する安定なターゲットを製造することが非常に困難であるため、層内のＳｉの可能な濃度は、１５ａｔ％未満である。